

科目名		東洋医学概論 3							年度	2025
英語科目名		Overview of Oriental Traditional Medicine 3							学期	前期
学科・学年		鍼灸科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		奥山夕記子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
【科目の目的】 東洋医学における臓腑の生理と病理を理解する。 身体 の症状を正しく把握して、東洋医学的な診断方法に基づき「弁証」を行える。 を患者にわかりやすい言葉に置き換えて説明できるよう総合的な知識を習得する。 患者の 東洋医学用語										
【科目の概要】 東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体 のメカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学ぶ										
【到達目標】 A．東洋医学における生理と病理について理解している 医学における診察法や診断法について理解している の病証について理解している 解している いる B．東洋 C．気・血・津液 D．五臓の病証について理 E．六腑の病証について理解して										
【授業の注意点】 授業日数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 講時間 に無連絡で20分以上遅れた場合、受講できるが出席の扱いをしない。 は本科の規則に従った形式で提出する。 受 課題										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標 A	臓腑の生理作用と病理 についてすべて理解し ている	臓腑の生理作用を理解 し、病理もほぼ理解し ている	臓腑の生理作用は理解 している、病理は一部 を理解している	臓腑の生理作用があや ふやで、病理を導けな い	臓腑の生理作用が理解 できていないので病理 もわからない					
到達目標 B	東洋医学の診察法（四 診法）や弁証法の概 念、現代医学との相違 を理解している	東洋医学の診察法（四 診法）を理解し弁証論 治を理解している	東洋医学の診察法（四 診法）を理解し現代医 学との相違を理解して いる	東洋医学の診察法（四 診法）だけは理解して いる	東洋医学における診 察・診断がわからない					
到達目標 C	気血津液病証の概念、 虚実の相違、7つの病証 をすべて理解している	気血津液病証の虚実の 相違と7つの病証のほと んどを理解している	気血津液病証の虚実の 相違と7つの病証のうち 半分以上は理解してい る	気血津液病証の虚実の 相違と7つの病証のうち 1 / 3 は理解している	気血津液病証の概念が 理解できない					
到達目標 D	五臓病証の概念、生理 作用と、 2 1 の病証を すべて理解している	五臓病証の生理作用 と、 2 1 の病証をほぼ 理解している	五臓病証の生理作用 と、 2 1 の病証のうち 3 / 4 は理解している	五臓病証の生理作用 と、 2 1 の病証のうち 1 / 2 は理解している	五臓の病理の概念も病 証もほぼ理解できてい ない					
到達目標 E	六腑の病証の概念と六 腑すべての病証を理解 している	六腑の病証の概念と六 腑の病証をほぼ理解し ている	六腑の生理作用と病証 をほぼ理解している	六腑の生理作用は理解 できるが病証を挙げる ことができない	六腑の生理作用も病理 も区別がつかない					
【教科書】 東洋医学概論 東洋療法学校協会編 医道の日本社										
【参考資料】 特になし										
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験で100%評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

